

延岡市過疎地域持続的発展計画(案)に関する意見募集に対する市の回答

	意見	回答
1	<p>(過疎発生の原因)</p> <p>過去の過剰な集団就職や、都市部への就学、就労等が、過疎発生の原因ではないか。</p>	<p>地方において過疎化が進んだ要因の一つとして、高度経済成長期における都市部の急速な工業化や、それに伴う地方からの労働力の流出等が考えられます。特に旧北方町においては、槇峰鉱山の閉山に伴う人口流出が、さらに過疎化を加速させたものと考えられます。</p>
2	<p>(水害対策に空地利用貯水)</p> <p>空地・鉄道跡・未使用且つ廃業建造物等を利用し、水害時に貯水して、下流の流量減少を図る。また山間地域の火災時における消防用水用にも貯水しておく。</p>	<p>「延岡市国土強靱化計画」及び「五ヶ瀬川水系流域治水プロジェクト」における各種施策に取り組むなど、水害をはじめとする災害に強いまちづくりを推進します。また、森林の水源かん養機能を維持することも重要であることから、再造林などによる災害発生リスクを防ぐ森林づくりを推進します。消防水利については、防火水槽や消火栓等の計画的な整備を推進します。</p>
3	<p>(山間地域の食料使用増加)</p> <p>狩猟資格者(非銃猟)の増加と害獣狩猟鳥獣の食肉(缶詰・干し肉等)の増産を図り、動物園の肉食獣のペットフードにも活用する。また、雀蜂の栄養食品化など、非常食の生産を図る。葉煙草作付は永久放棄し、医薬品・健康維持食品使用原料植物に転作栽培する。国内食糧自給率増加は、国民の健康者増加に繋がる。</p>	<p>過疎地域においては、鳥獣による農業や林業への被害が大変深刻な問題となっています。これらの対策として、捕獲や侵入防護等の取組みをさらに強化し、ICTを活用して捕獲体制の省力化を図るとともに、狩猟従事者の確保に努め、ジビエ活用を積極的に推進するなど、地域と連携して被害の軽減を図ってまいります。</p>
4	<p>(食料品残存物の利用)</p> <p>魚・蟹・猪等の骨・殻、植物系食品残存物の再利用方法を開発し、過疎地域の収入源にする。地域内で満足できる思考を定着させることで、無駄を省き、循環型社会形成と過疎地域定住者増加を目指す。</p>	<p>過疎地域の産業においては、その自然的環境や地域資源を生かした取組みが大変重要です。地域の特性に応じた高収益作物の生産体制を確立するなど、地域内の経済循環を高めて、収益力の向上を図り、人口流出の抑制や定住者の増加につなげたいと考えます。</p>

<p>5</p>	<p>(治山活動の樹木育成)</p> <p>山間地域を放置したままにしておくと、水害・山崩れ・崖崩れによる道路寸断等が発生し、経済活動にも影響を与える。山間地域の健全な維持活動を図るための樹木育成を行う。</p>	<p>森林は、水源かん養や国土保全など、公益的機能を有していることから、適正な管理を求められますが、森林所有者の高齢化等により、管理の行き届いていない森林も散見されます。このようななか、森林資源を適正に管理するため、「伐って、使って、植える」資源循環型林業や、可能なエリアには広葉樹を植える針広混交林の育成などを促進するとともに、森林環境譲与税を活用し、自然環境に配慮した森林施業に努め、森林の公益的機能の維持増進を図ってまいります。</p>
<p>6</p>	<p>(ドローンでの調査)</p> <p>ドローンを活用し、防災の観点から、山間地域の倒壊・腐敗樹木の早期発見や、山間部の巨石・地滑りの有無を確認する。また、害獣の監視・追跡等の狩猟活動により、作物被害の軽減を図り、収穫量増加・収入安定・経済維持を可能にする。</p>	<p>今後、農業や林業、防災など、様々な分野において、ICTの活用や先進機器の導入、情報通信網の整備等がますます重要になってくるものと考えます。これらの活用により、生産の効率化や省力化を図り、地域経済や産業の活性化につなげていきたいと考えます。</p>
<p>7</p>	<p>(山間部の歩道等の適切管理と樹木除去)</p> <p>歩道の手入れも重要である。事故や災害で歩道を徒歩・車椅子・乳幼児用手押車が快適に利用可能な状態にすることは重要である。頭上の樹木除去を行う。</p>	<p>過疎地域の道路は、急峻な地形に沿って造られた箇所も多く、危険な箇所や見通しの悪い箇所など、様々な問題を抱えています。各路線の問題を的確に把握し、道路の適切な維持管理を図るとともに、地域住民の生活道路として、歩行者も含め、通行の安全を確保します。</p>